

会議結果報告書

平成30年 4月11日

会議の名称	志木市公共施設等マネジメント検討委員会幹事会第5回会議
開催日時	平成30年4月11日(水) 午前9時00分～午前9時45分
開催場所	203会議室
出席委員	[幹事会メンバー] (※進行者) ※ 松永政策推進課長、原田秘書広報課長、 山崎人事課長、菊池総務課長、松井財政課長、 野口市民活動推進課長、塩盛福祉課長、滝田都市計画課長、 加藤建築開発課長、末永上下水道総務課長、 榎本教育総務課長、清水会計課長、大熊議会事務局次長、 大河内選挙管理委員会事務局長兼監査委員事務局長、 原田生涯学習課長 <p style="text-align: right;">(計15人)</p>
欠席委員	<p style="text-align: right;">(計0人)</p>
説明員職氏名	松永政策推進課長 <p style="text-align: right;">(計1人)</p>
議題	1 開会 2 内容 (1) 「志木市公共施設適正配置計画～第I期個別施設計画～ (平成27(2015)年度～平成36(2024)年度)」に基づく 今後10年以内のマネジメント方策について (2) その他 3 閉会
結果	1 開会 幹事長より会議の開会を告げる。 2 内容

(1)「志木市公共施設適正配置計画～第Ⅰ期個別施設計画～(平成27(2015)年度～平成36(2024)年度)」について
幹事長より、本計画の基本的な考え方や進捗状況について、概要説明を行った。

【主な内容】

- ・ 適正配置の基本的な考え方について
- ・ マネジメント方策の内容について
- ・ マネジメント方策選定の流れについて
- ・ 限界年数の設定及び延床面積削減の考え方について
- ・ 個別施設毎の方向性や方策実施の時期について
- ・ 市民会館・市民体育館整備手法比較検討調査の結果について

第Ⅰ期の対象施設については、平成27年度から平成36年度までの10年間にに関する内容のため、既に計画が進んでいる施設もあるが、今後検討を進め、マネジメント方策を実施していかなければならない施設もある。

また、平成29年度に実施した市民会館・市民体育館整備手法比較検討調査については、両施設の建替え及び耐震化(改修)について、民間活力の活用などPFI※₁の導入可能性の検討を行ったところである。建替えについては、BT0※₂方式が適当であり、耐震化(改修)については、従来方式が適当との結果となった。

施設の更新等に当たっては、財源の確保が課題となることから、効果的・効率的なマネジメントを実施できるよう引き続き検討していく。

※1 PFI(プライベート・ファイナンス・イニシアチブ)…民間の資金と経営能力・技術力(ノウハウ)を活用し、公共施設等の設計・建設・改修・更新や維持管理・運営を行う公共事業の手法。

※2 BT0(ビルド・トランスファー・オペレート)…民間事業者が施設等を建設し、施設完成直後に公共施設等の管理者等に所有権を移転し、民間事業者が維持・管理及び運営を行う事業方式。

	<p>(1) を説明後、質疑応答を行った。</p> <p>(課長) 広域行政（施設の相互利用）は検討しないのか。</p> <p>(幹事長) 平成 29 年度に、4 市（朝霞市、和光市、新座市、志木市）の公共施設相互利用について検討を行ったが、さまざまな要因から実施には至らなかった。今後については、施設の複合化を検討するとともに、コストの削減を検討していく。</p> <p>3 閉会 幹事長が閉会を告げる。</p>
事務局職員	松田政策推進課主幹、平間政策推進課主任